



平成 24 年 3 月期 第 2 四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成 23 年 10 月 26 日

上場会社名 株式会社コメリ

上場取引所 東

コード番号 8218 URL <http://www.komeri.bit.or.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 捧 雄一郎

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役 常務執行役員 経営企画室ゼネラルマネージャー (氏名) 板垣 隆義 (TEL) 025(371)4111

四半期報告書提出予定日 平成 23 年 11 月 14 日 配当支払開始予定日 平成 23 年 12 月 6 日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成 24 年 3 月期第 2 四半期の連結業績 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 23 年 9 月 30 日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24 年 3 月期第 2 四半期	160,132	6.9	13,426	37.1	13,222	38.3	7,420	53.7
23 年 3 月期第 2 四半期	149,790	2.6	9,791	△4.4	9,559	△2.7	4,828	△13.4

(注) 包括利益 24 年 3 月期第 2 四半期 7,459 百万円 (61.3%) 23 年 3 月期第 2 四半期 4,624 百万円 (－%)

	1 株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1 株当たり四半期純利益
24 年 3 月期第 2 四半期	円 銭 146.13	円 銭 146.12
23 年 3 月期第 2 四半期	94.58	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24 年 3 月期第 2 四半期	250,300	115,102	46.0
23 年 3 月期	247,688	108,498	43.8

(参考) 自己資本 24 年 3 月期第 2 四半期 115,094 百万円 23 年 3 月期 108,498 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第 1 四半期末	第 2 四半期末	第 3 四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23 年 3 月期	—	17.00	—	17.00	34.00
24 年 3 月期	—	17.00			
24 年 3 月期(予想)			—	17.00	34.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 24 年 3 月期の連結業績予想 (平成 23 年 4 月 1 日～平成 24 年 3 月 31 日)

(%表示は、通期は対前期増減率)

	営業収益		営業利益		経常利益		当期純利益		1 株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	316,000	5.8	20,600	29.8	20,200	31.5	9,700	70.2	191.03

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正につきましては、本日 (平成 23 年 10 月 26 日) 公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）、除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	54,409,168株	23年3月期	54,409,168株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	3,631,210株	23年3月期	3,631,178株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	50,777,979株	23年3月期2Q	51,049,492株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信（添付資料）3ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	9
4. 補足情報	9
商品部門別売上状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における我が国経済は、東日本大震災によるサプライチェーンの混乱や電力会社を実施した計画停電等の問題により、製造業を中心とした景気停滞の懸念があったものの、震災後の復興や節電に関わる商品を中心に消費マインドは、回復してまいりました。一方、欧州の金融不安や米国経済における景気回復の遅れ等、我が国経済に与える不安要素は払拭されず、先行きの不透明感は未だ続いております。

このような状況のもと、当社グループは、当第2四半期連結累計期間におきまして、東日本大震災後の被災地域への商品供給責任を果すことに全力で取り組むと共に、電力の供給不足に伴う節電関連や暑さ対策商品等の拡販にも努めてまいりました。これらにより、ホームセンター事業の売上高は、金物・資材・建材を中心に好調に推移いたしました。また、商品政策につきましては、PB商品の拡販及び商品在庫の適正化に努めてまいりました。その結果、商品荒利益率は、前年同期比で1.3%改善し、在庫金額は、既存店前年同期比で5.4%削減いたしました。

新規出店につきましては、福岡県にパワー（以下、PW）を2店舗、大分県にホームセンター（以下、HC）を1店舗、11県下にハードアンドグリーン（以下、HG）を13店舗、合計で16店舗出店いたしました。これにより、当第2四半期末の店舗数は、PW20店舗、HC127店舗、HG898店舗、アテナ18店舗、合計で1,063店舗となりました。なお、このうち震災の影響により、福島第一原子力発電所から30km圏内の7店舗を含むHG9店舗が営業を見合わせております。

（商品部門別の状況）

①金物・資材・建材

「金物・資材・建材」分野は、東北地方を中心とした復興需要の影響もあり、金物、工具や木材、補修用品を中心に好調に推移いたしました。これにより売上高は、448億12百万円（前年同期比115.0%）となり、ホームセンター部門の売上全体を牽引いたしました。

②園芸・農業用品

「園芸・農業用品」分野は、東日本大震災により園芸・農業用品の立ち遅れの影響もあり、肥料・農薬の販売が苦戦いたしましたが、野菜苗を中心に植物は好調に推移いたしました。これにより売上高は、419億37百万円（同103.7%）となりました。

③家庭用品

「家庭用品」分野は、被災地を中心に生活用品等が好調に推移いたしました。また日除け・スタレ等の節電・暑さ対策商品が売上を大きく伸ばしました。これにより売上高は、398億38百万円（同107.1%）となりました。

④オフィス・レジャー用品

「オフィス・レジャー用品」分野は、ペット用品の販売が低迷いたしましたが、家具・収納用品が好調に推移いたしました。これにより売上高は、225億17百万円（同101.6%）となりました。

⑤灯油他

「灯油他」分野は、灯油の販売数量が前年を大きく下回りました。これにより売上高は、30億12百万円（同83.4%）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の営業収益は、1,601億32百万円（前年同期比106.9%）、営業利益は、134億26百万円（同137.1%）、経常利益は、132億22百万円（同138.3%）、四半期純利益は、74億20百万円（同153.7%）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ26億11百万円増加し、2,503億円となりました。主に有形固定資産の増加によるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ39億92百万円減少して、1,351億97百万円となりました。これは、短期借入金及び長期借入金が63億66百万円減少した一方、未払法人税等が25億8百万円増加したこと等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ66億4百万円増加して、1,151億2百万円となりました。主に利益剰余金が65億57百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は46.0%（前連結会計年度末は43.8%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ19億34百万円減少し82億6百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果獲得した資金は、160億48百万円（前年同期比16.8%増）となりました。主に税金等調整前四半期純利益 130億82百万円、減価償却費 57億88百万円、仕入債務の増加額 25億67百万円等の資金の増加、および法人税等の支払額 34億96百万円等の資金の減少によるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は、92億95百万円（同96.6%増）となりました。主に有形固定資産及び無形固定資産の取得によるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果使用した資金は、86億88百万円（同1.0%増）となりました。主に短期借入金の減少額 35億70百万円、長期借入金の返済による支出 27億96百万円、リース債務の返済による支出 14億58百万円あったことによるものであります。

（3）連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、当第2四半期の業績及び当第3四半期以降の経営環境を踏まえ、平成23年7月28日に公表いたしました平成24年3月期の通期業績予想を修正いたしました。

詳細につきましては、平成23年10月26日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	10,331	8,463
受取手形及び売掛金	5,985	5,308
商品及び製品	79,612	81,482
原材料及び貯蔵品	112	143
繰延税金資産	1,561	1,827
その他	6,612	7,407
貸倒引当金	△36	△44
流動資産合計	104,178	104,589
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	82,580	83,706
土地	24,273	25,853
リース資産（純額）	8,298	7,544
その他（純額）	6,640	6,741
有形固定資産合計	121,792	123,846
無形固定資産	6,150	6,284
投資その他の資産		
投資有価証券	360	401
繰延税金資産	5,791	5,961
敷金及び保証金	7,620	7,507
その他	1,829	1,744
貸倒引当金	△35	△35
投資その他の資産合計	15,566	15,580
固定資産合計	143,509	145,711
資産合計	247,688	250,300
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	41,741	44,309
短期借入金	42,930	39,360
1年内返済予定の長期借入金	5,467	4,621
リース債務	2,650	2,466
未払法人税等	3,603	6,111
賞与引当金	1,933	2,061
役員賞与引当金	58	28
店舗閉鎖損失引当金	17	17
ポイント引当金	382	421
災害損失引当金	403	59
その他	11,426	9,318
流動負債合計	110,614	108,775

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
固定負債		
長期借入金	11,414	9,464
リース債務	6,592	6,014
退職給付引当金	4,598	4,914
役員退職慰労引当金	1,026	1,025
資産除去債務	2,744	2,864
その他	2,199	2,138
固定負債合計	28,576	26,421
負債合計	139,190	135,197
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,802	18,802
資本剰余金	25,260	25,260
利益剰余金	73,528	80,086
自己株式	△8,812	△8,812
株主資本合計	108,778	115,335
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△6	18
繰延ヘッジ損益	△274	△259
その他の包括利益累計額合計	△280	△241
新株予約権	—	8
純資産合計	108,498	115,102
負債純資産合計	247,688	250,300

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	145,052	154,951
売上原価	99,042	103,840
売上総利益	46,009	51,110
営業収入	4,738	5,181
営業総利益	50,748	56,291
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	—	39
給料及び手当	13,085	13,890
賞与引当金繰入額	1,918	2,061
役員賞与引当金繰入額	29	28
役員退職慰労引当金繰入額	12	—
その他	25,910	26,845
販売費及び一般管理費合計	40,956	42,865
営業利益	9,791	13,426
営業外収益		
受取利息	26	23
為替差益	76	119
その他	122	103
営業外収益合計	224	247
営業外費用		
支払利息	435	354
その他	21	97
営業外費用合計	456	451
経常利益	9,559	13,222
特別利益		
固定資産売却益	—	1
工事負担金等受入額	—	65
受取和解金	—	35
特別利益合計	—	101
特別損失		
減損損失	1	—
固定資産処分損	58	241
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,053	—
その他	4	—
特別損失合計	1,118	241
税金等調整前四半期純利益	8,440	13,082
法人税、住民税及び事業税	4,654	6,124
法人税等調整額	△1,042	△462
法人税等合計	3,612	5,661
少数株主損益調整前四半期純利益	4,828	7,420
四半期純利益	4,828	7,420

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	4,828	7,420
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△36	24
繰延ヘッジ損益	△167	14
その他の包括利益合計	△203	39
四半期包括利益	4,624	7,459
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,624	7,459
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	8,440	13,082
減価償却費	5,423	5,788
減損損失	1	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	1,053	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	160	127
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	307	316
災害損失引当金の増減額 (△は減少)	—	△324
支払利息	435	354
有形固定資産処分損益 (△は益)	58	240
売上債権の増減額 (△は増加)	94	676
たな卸資産の増減額 (△は増加)	3,385	△1,912
前払費用の増減額 (△は増加)	△527	△621
未収入金の増減額 (△は増加)	118	141
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,043	2,567
未払金の増減額 (△は減少)	36	△331
未払消費税等の増減額 (△は減少)	84	△174
その他	△520	△69
小計	17,509	19,861
利息及び配当金の受取額	31	28
利息の支払額	△435	△344
法人税等の支払額	△3,369	△3,496
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,735	16,048
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△4,094	△8,866
無形固定資産の取得による支出	△746	△438
その他	111	10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,728	△9,295
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△4,280	△3,570
長期借入金の返済による支出	△1,617	△2,796
リース債務の返済による支出	△1,544	△1,458
自己株式の取得による支出	△295	△0
配当金の支払額	△868	△863
財務活動によるキャッシュ・フロー	△8,605	△8,688
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	401	△1,934
現金及び現金同等物の期首残高	7,410	10,141
現金及び現金同等物の四半期末残高	7,812	8,206

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

商品部門別売上状況

(単位：百万円、%)

部門別	前第2四半期 連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)		当第2四半期 連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)		前年 同期比
	金額	構成比	金額	構成比	
金物・資材・建材	38,954	26.0	44,812	28.0	115.0
園芸・農業用品	40,458	27.0	41,937	26.2	103.7
家庭用品	37,214	24.8	39,838	24.9	107.1
オフィス・レジャー用品	22,165	14.8	22,517	14.0	101.6
灯油他	3,609	2.4	3,012	1.9	83.4
ホームセンター部門計	142,402	95.0	152,118	95.0	106.8
その他	2,649	1.8	2,833	1.8	106.9
売上高合計	145,052	96.8	154,951	96.8	106.8
営業収入	4,738	3.2	5,181	3.2	109.3
営業収益	149,790	100.0	160,132	100.0	106.9

(注) 商品別の各構成内容は次のとおりであります。

金物・資材・建材	(建築金物、資材・建具、工具、ペイント・内装、作業衣料等)
園芸・農業用品	(園芸・農具、植物等)
家庭用品	(日用品・家庭用品、電気製品、インテリア、服飾雑貨等)
オフィス・ レジャー用品	(オフィス用品、家具収納、スポーツ・レジャー、文具・玩具、ペット、 カー用品等)
灯油他	(燃料等)